



発行所  
福山民報社  
福山市霞町  
3丁目4番地25号  
Tel.922-2815  
Eメールアドレス  
[info@f-jcp.com](mailto:info@f-jcp.com)  
ホームページアドレス  
<http://www.fjcp.com/>

# 6月議会一般質問 145分の論戦 市民の声を届けるため奮闘！



河村ひろ子

## 介護保険制度について

今年4月、介護保険料が値上げし、減免制度の拡充や介護労働者の処遇改善など質問しました。市は保険料を13段階に設定した。処遇改善は、国の動向を見守ると答弁。河村市議は利用しやすい制度実現求め頑張ると話しました。



土屋ともり

## 鞆港の埋め立て架橋は撤回せよ

(市長) 知事の最終的な判断がしめされる時期

町並み保存・消防など生活環境の整えること、鞆の住民間に対立をおおるようなことは慎むべきで、架橋計画を撤回するように強く求めました。

## 保育所の耐震化の遅れ明らかに

建築基準法以前の園舎55棟も！

市の答弁では耐震対策は、保育園の再整備計画（公立から私立への移管や統廃合）と一体で行うにとどまりました。河村市議は「子ども達の命の問題。耐震診断等行う事を求めている」と話しています。

## 川南土地区画整理事業・審議会

(市長) 基準点測量は同意事項ではない

基準点測量について議事録では審議会内で合意を得たかのように記載されていますが、会の前に話し合った中身ではないかと追及し、同意事項ではない事が分かりました。住民合意の得ていない、この事業の白紙撤回を求めました。

## 震災瓦礫の受け入れは慎重に

(市長) 受け入れは未定

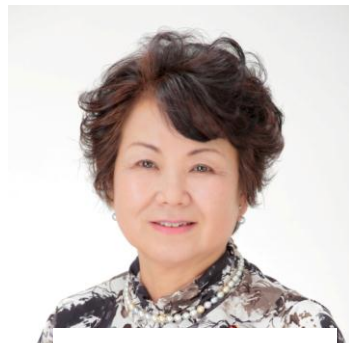
復興支援で瓦礫処理は大切な問題ですが、放射能に汚染された可能性は払拭できません。福山市の瓦礫処理の姿勢を問いました。市は①住民説明②最終処分場の確保③広域処理の財政支援について、国に要請をしている。受け入れは未定と答弁をしました。土屋市議は「市民団体を皆さんと運動を強め、放射能により内部被曝を防ぐため、暫定基準値の見直しを国に求め、市に対しては瓦礫受け入れを、現段階では表明しないように求めています」と話します。



高木たけし

## 国保税を引き下げ、資格者証の発行はやめるべき

市は、広域化を行い、財政を安定化させる。資格者証については、急病の時は短保険証を発行していると述べました。高木市議は「これ以上の保険料の負担は許されない。国庫負担を増やし、高すぎる国保税の引き下げを求めています」と語り



村井あけみ

## 住宅リフォーム助成制度実現せよ

(市長) 住宅改修に対する既存の制度があるのでは、新たな制度創設は考えない

経済波及効果が高く、中小業者の仕事おこしにもなるこの制度実現を目指します。完納証明撤廃で融資を受けやすくなるようにも求めます。

## ホテルプリンス火災

消防予防要員の充足を

(市長) 行政の指導や対応が不十分だった。予防要員は一定の整備ができています。

福山消防合の予防要員は73.6%にとどまっています。立ち入り検査や、予防事務等を行うため、従事する要員は必要です。二度とこのような火災事故が起こらないように、行政の役割を果たす事が求められています。要員を増やす事など、引き続き求め、安全な街づくりをすすめます。

## 鳥獣被害・イノシシ対策について

大規模防護柵などの設置の費用について、市が限度額内で三分の二を補助するものです。イノシシ被害は拡大深刻化しており、今後限度額の拡大等が必要です。さらなる制度拡充に向けてとりくみます。

## 市街化区域内の固定資産税を引き下げよ

現在、市街化区域内の固定資産税は引きあがり、一般農地と比較して、約200倍も高い所があります。市独自の条例で、固定資産税を引き下げよと求めました。市は、宅地としての潜在価値を有するので、宅地並み評価で、条例の制定は困難である、との答弁でした。村井市議は「農業を続けたくても、税金が高いため続けられないという声が多い。農地を守り、生活を守るためにも、条例制定にむけ頑張る」と話します。

## 小中一貫教育をやめ、子ども達に分かる教育と教師の多忙化改善。35人以下学級の早期実現を「たくましく生きる力」を

子どもや教師の多忙化に拍車をかけるこの一環教育を撤廃を求めています。